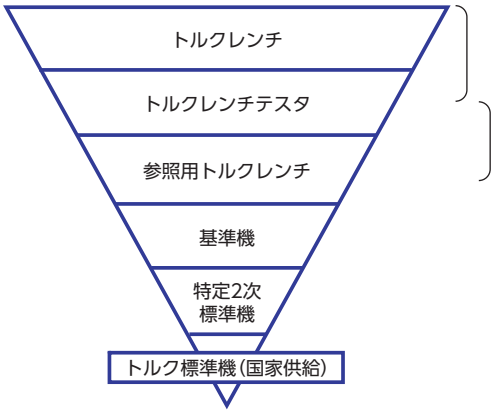
東日の JCSS (Japan Calibration Service System) 対応について

JCSS 校正とは、ISO17025 に準拠したと認められる校正機関にて認められた範囲内で校正を行い、国家標準とのトレーサビリティの取れた不確かさのある測定値として承認された校正です。
また JCSS 校正は国際 MRA (Mutual Recognition Arrangement) に対応し、APLAC (アジア太平洋試験所認定協力機構)、ILAC (国際試験所認定協力機構) との相互認証協定の参加署名も行っており、これにより参加署名を行った国には JCSS 校正が有効となります。(詳細についてはトルクハンドブック Vol.8 P.88 をご参照ください)

東日は JCSS 校正の認定事業者です

東日のトルク標準室は、「トルク」の国家標準へ直接つながるトレーサビリティを確立しました。
これにより JCSS 校正証明書付トルクレンチテスタの供給が可能です。(登録番号：JCSS0281)

JCSS が分担する国家標準「トルク」のトレーサビリティ体系と東日製作所が取得の JCSS の役割 の部位 (2018 年 3 月現在)



3 次階層：トルクレンチの校正
(2018年4月　認証取得予定)

2 次階層：トルクレンチテスタの校正 (JCSS対象)
10N·m～1000N·mが対象トルク範囲
上記範囲外は従来通りの校正

1 次階層：参照用トルクレンチに対する値付け
(JCSS対象)

トルク標準室

JCSS 校正証明書付トルクレンチテスタの販売について

トルクレンチテスタ DOTE4 において、JCSS 対象の 10N·m ～ 1000N·m 範囲に該当する製品を JCSS 校正証明書付トルクレンチテスタとして、販売します。同時に実作業において既に品質管理対象となっている、より広いトルクレンジを含む精度表記モデルとの計測レンジの互換性を重視した、不確かさ校正証明書付製品*販売致します。

*：東日開発のトルク基準機と参照用トルクレンチにより、JCSS のトルク基準範囲外での、トレーサビリティを確立し、不確かさ校正証明書を添付した製品

トルクレンチテスタ DOTE4 における JCSS 校正の例

各シリーズの構成と価格は下記表のようになっています。

1．JCSS 校正証明書付タイプ

JCSS 校正証明書付 DOTE4 シリーズ

不確かさ 1%

型　式	トルク測定範囲 最小～最大 (N·m)	トルク測定範囲 1 dgit (N·m)	価格 円
DOTE50N4	10-　50	0.005	553,300
DOTE100N4	10-　100	0.01	
DOTE200N4	20-　200	0.02	590,400
DOTE500N4	50-　500	0.05	798,900
DOTE1000N4	100-1000	0.1	1,262,400

2．不確かさ校正証明書付タイプ

不確かさ校正証明書付 DOTE4 シリーズ

不確かさ 1%

型　式	トルク測定範囲 最小～最大 (N·m)	トルク測定範囲 1 dgit (N·m)	価格 円
DOTE20N4	2-　20	0.002	
DOTE50N4	5-　50	0.005	523,300
DOTE100N4	10-　100	0.01	
DOTE200N4	20-　200	0.02	560,400
DOTE500N4	50-　500	0.05	768,900
DOTE1000N4	100-1000	0.1	1,232,400

3．精度校正証明書付タイプ

精度校正を実施した精度校正証明書付モデルも、従来通り販売しています。

既販のトルクレンチテスタ DOTE3/4 への JCSS 対応校正、不確かさ校正について

テスタをお預かりして校正を承ります。お受けするにあたり、製品の状況や経年期間等によってご要望の不確かさ範囲へ対応するために、調整、修理、部品交換、一部構成部品の変更等が必要な場合や対応が不可となる場合がございます。
詳細は内容確認書等によるご案内・見積となります。詳しくは東日製作所までお問合せください。